

# PROGRAM NOTE

## 私の音楽人生

松田健一郎 (ビオラ奏者)

「1954年（昭和29年）北海道札幌市に生まれた私は、幼い頃から歌うのが好きでした」

教育大付属中学校の時に、合唱クラブで唄う楽しみを教えられました。夏休みに、クラシック音楽を3曲聴いて感想を書くという音楽の宿題があり、NHKラジオ第二放送で毎朝6時からそれを聴いて147曲の感想を書き上げていました。父は反対しましたが、オーケストラのある道立札幌西高校へ進学しました。最初はフルートを吹きたかったのですが、人数が多く、先生にビオラをすすめられてオーケストラへ入りました。

高校3年の春に札幌に演奏にこられた世界で5本の指に入る今井信子先生のビオラ演奏をきいて、こんなに色々なことができるのかと度肝をぬかれ、レッスンをお願いしました。そのとき言われたのが「やめたほうがいいわよ。」でした。そして、普通の人より始めるのが10年遅いから、人の10倍、毎日10時間練習しなければ駄目だともいわれました。早速10時間続けて練習したら指が腫れてひどい事になりましたが、6～7時間練習を毎日つづけました。すると、今度は成績がガタ落ちでした。

国立音楽大学2年の夏、教室に貼ってある新日本フィルハーモニー交響楽団の求人広告を読みました。「小澤征爾指揮、秋にアメリカ・ヨーロッパ演奏旅行」これに入れば海外旅行へいけるので、いさぎよく大学は3年で中退しました。

その後、北イリノイ州立大学で教えていた今井先生に手紙を書いて、その大学の3年に編入しました。学生の時もミルウォーキー交響楽団で演奏しましたが、定住してからは、シカゴグラントパー

ク交響楽団の正団員になりました。コロンバス交響楽団に来たのは条件がよかったからです。

第一次予選は偏見がないようにカー

テンの後ろですが、最終予選に残る5～6人は、面前でいろいろ注文をつけられながらの演奏でした。楽器というのは小さい頃から時間を決めて集中して練習しなくてはなかなか上達しないので、最近は日本人やアジア系が非常に多くなってきました。教育熱心だからでしょう。

楽器の練習は自己鍛錬に役立ちます。英語ではdiscipline、しつけとか規律と訳しますが、楽器の演奏にはそれ相応の時間をかけないと駄目です。嫌



### ヴィオラ



左はヴァイオリン、  
右がヴィオラ

後者のあごに挟んで演奏するヴィオラが現在のヴィオラの祖先にあたります。

18世紀の中ごろまではオーケストラでしか使用されていませんでしたが、弦楽四重奏の発達に伴い、室内楽にも欠かせない楽器となりました。独奏楽器として認められるようになったのは18世紀後半からです。

Source: Music Communication Symphony

な時でも決まった練習はきちんとしなくてはなりません。それに、人といっしょに演奏することで、思いやりの心も培われます。生の演奏会には、ぜひ出かけてほしいですね。体験して、感動して、楽器を選んで、人といっしょに演奏する。音楽は『音を楽しむ』ですから、ぜひその醍醐味も体験してほしいです。「音楽は気持ちが沈んでいる時に助けてくれる。幸せな時は倍増させ、怒っている時は、和らげてくれる。」これは、私の音楽人生が胸に刻んでくれた座右の銘です。

日本語放送担当

尾崎一夫

### 松田健一郎さんからの便り：

現在、アメリカ全国では、2008年のリーマンショックの影響を受けて以来、2009、10年頃から、その影響が顕著に現れ、沢山のオーケストラが破産、解散、予算縮小に伴う給与の大幅カット等を経験しています。まだ労働問題が解決していないオーケストラもいくつかあります。

アメリカに於けるオーケストラは、芸術の非営利団体として、その町の有力者達によってつくられた理事会が運営をします。主に、大工場のオーナー、彼等と一緒に仕事をする法律家たちが多く、その中に一人でも本当に音楽を愛する大金持ちの篤志家がいれば良いのですが、そう簡単にはいきません。今回の経済恐慌はコロンバス・シンフォニーにも、とてつもない爪痕を残しました。その結果、2005年当時の給料から、現在40%カットとなり、48週間から26週間年間の契約にカットです。私自身、教えていた3つの大学のうち、2校からは資金難の理由で解雇されました。

この経済危機を逆にとり、私は思い切って、妻のターニャと「ヴィオラ&ピアノの二重奏」をやり始めました。それこそ世界中に星の数程ある素晴らしいデュオがかれらの芸術性を披露する為に設立したのとは全く逆で、「おたがい演奏課を卒業しているのだから、原点にもどってできるだけ演奏しようじゃないか、と話し合い、ナーシングホームを片っ端からコンタクトを取り始め、いままでに50くらいのリサイタルをやりました。『ニッセンデュオ』というのが名前です。有名な音楽家に関係ある人名ですが、まあ普通のひとには判らないと思います。放送を聞いて下さる人達へのクイズとしておきましょう。毎日、神様が必ず必要を備えてくださるという体験を味わっているこのごろです。

**Soli Deo Gloria!** (栄光が神のみにありますように！)

(答) ニッセンはドイツの作曲家ブラームスの母親の結婚前の名字です。父親は、劇場のコントラバス奏者でしたが、息子との交流はあまりなく、母親がこまめに文通を続けました。現在の残っている120通のどの手紙にも、母親の優しい心があふれているといわれています。



『サタデー・トーク』		『バイブル・トーク』	
きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
6月 2日	アンデスを走る鉄道の旅 (3)	6月 3日	聖書遊覧バス (24)
6月 9日	クリスチーンの大学卒業・・・そして?	6月10日	聖書遊覧バス (25)
6月16日	わたしの音楽人生 松田 健一郎 (1)	6月17日	リスナーからのお便り紹介番組
6月23日	わたしの音楽人生 松田 健一郎 (2)	6月24日	聖書遊覧バス (26)
6月30日	わたしの音楽人生 松田 健一郎 (3)		

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間午前7時半～8時

放送周波数： 15525kHz 19mb)

(米国アリゾナ制作/オーストラリア送信)

HCJB日本語放送

新住所：HCJB (日本語放送) 5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA